

## 食品廃棄物削減の取り組み



### 魚のアラのリサイクルループ

店舗から出た魚のアラを主原料とする肥料を使って生産された農産物を「エコろく」としてブランド化し、シールを貼って販売しています。食品廃棄物が資源として循環することを「食品循環資源リサイクルループ」といいます。「エコろく」はこうしたループによって生産されています。



エコろく販売店舗 (6店舗)

長岡店	亀田店
中野山店	桜木店
柏崎店	新津店

### 黒烏エコろく茶豆

新潟市西区黒烏地区の契約生産者様と共同で、「エコろく」ブランドの「茶豆」を開発。「甘み」と「旨味」に一層磨きがかかりました。



### パイナップルの皮と芯を飼料化

カットパイン製造時に発生する皮と芯を破碎・脱水し、乳牛のエサとしてリサイクルしています。栄養価が高く消化も良い飼料を地元で調達でき、酪農家さんからも喜ばれています。



新発田市の酪農家さん



胎内市の酪農家さん

### 食品ロス削減の取り組み

SDGsでは「2030年までに一人あたりの食品廃棄量を半減させる」という目標を立てています。ウオロクは食品小売業として、この課題に真剣に取り組む必要があると考えています。

#### ① フードバンク等への食品提供

「販売基準には満たないが充分食べられるもの」を廃棄せずに有効に活用していただこうと、食品提供しています。2022年も取り組み店舗を拡大しました(小舟店・女池店・鳥屋野南店)。食品を必要としている方への一助となり、同時に食品ロスを削減できるよう取り組んでいます。

提供先(※敬称略)	開始時期
フードバンクしばた	2019年3月
更生保護施設 新潟川岸寮	2020年10月
フードバンクにいがた	2021年4月
OHANA食堂	2021年10月
女池こどもしゃいん食堂	2022年12月



「フードバンクしばた」様へ(小舟店)



「女池こどもしゃいん食堂」様へ(女池店・鳥屋野南店)

#### ② ITの活用

発注支援システム[sinops]を導入しています。AIが販売数量を予測、それに基づいて発注数量を適正な値に調整します。また、賞味期限チェック支援ツール[sinops-Dcont]も導入し、合わせて食品廃棄の削減に効果を発揮しています。

※[sinops]は株式会社シノプスの登録商標です。



#### ③ 食品ロス削減の啓発活動

農林水産省の食品ロス削減啓発ロゴマーク「ろすのん」を活用しています。



恵方巻きのロスをなくすのん!



# 3R (リデュース・リユース・リサイクル) の取り組み



## 店頭でのリサイクル活動

### ① ペットボトル自動回収機・古紙回収機を設置

ペットボトル自動回収機設置店舗 (36店舗)

村上店	中条店	緑店	小内店	東新町店	住吉店	コモ店	水原店	五泉店
女池店	神道寺店	鳥屋野島店	鹿越店	美原店	上新栄町店	大学前店	内野店	巻店
豊栄店	葛原店	社丹山店	中野山店	亀田店	新津店	白根大通店	吉田店	興野店
東新保店	見附店	長岡店	要町店	高店	北山店	柏崎店	俊木店	魚沼店

古紙回収機設置店舗 (9店舗)

緑店	コモ店	水原店	五泉店	葛原店
新津店	白根大通店	見附店	要町店	

(2023年3月現在)



### ★回収機の利用でお買い物と同じポイントが貯まります!



### ★回収したペットボトルは全量リサイクルしています!

・サントリーグループと共同でペットボトルの取り組みを開始しました。

・売場の陳列棚で使用しています。



### ② 食品トレー、牛乳パック、アルミ缶を回収しています

「トレー-to-トレー」のリサイクルループ推進)

店頭回収している食品トレーは「エコトレー®」に生まれかかわっています。※「エコトレー®」は株式会社エフビコの登録商標です。



## 「ウオロクリサイクルセンター」稼働

業務で発生した段ボールや発泡スチロール、お客様からお預かりしたアルミ缶や牛乳パックなどの資源物を、納品車両の帰便を利用して集約し、一括して再資源化する仕組みを構築しています。これにより、資源物の効率的な回収とリサイクルが可能となり、回収コストとCO<sub>2</sub>排出量の削減を図っています。

※ウオロクリサイクルセンターは株式会社ウオロクホールディングスが運営しています。



## 廃棄物の削減

### ① 紙類の分別とリサイクル

業務で使用しているダンボール、紙類を分別してリサイクルしています。



### ② 廃棄物の自主計量

廃棄物計量器を導入し自主計量しています。廃棄した量を見る化を通して、廃棄物全体の削減をすすめています。

